

「地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」を 推進するための申し合わせ

われわれは、日本の農業の危機を打破するため、農地を守り、活かし、耕し続ける農地利用最適化の取り組みを強力に推進してきた。第198回国会では「農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部改正する法律」が改正され、農業者への意向把握と地域の話し合い活動に取り組む農業委員会の取り組みを後押しする改正がなされた。

このような動きを踏まえて、われわれは今年度から新たな組織運動「地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」に取り組む、農地利用の最適化を通じて地域の農業の再生と農業・農村の持続的な発展を目指すこととしている。

よって、われわれはその実現を期すため、以下の取り組みについて、ここに申し合わせ決議する。

1. 農地利用最適化の推進に全力を挙げて取り組もう

(1) 農地制度の厳正な執行を徹底しよう

- すべての農業委員会において農地法をはじめとする農地制度の厳正な運用を徹底し、農地の確保と有効利用に努めよう。

(2) 市町村及び関係機関・団体と共に農地利用の最適化に取り組もう

- 「人・農地プラン」の話し合いなど農地利用最適化の推進に市町村及び農業協同組合、土地改良区等関係機関・団体とともに手を携えて取り組もう。

(3) 農地利用の意向把握に徹底して取り組もう

- 農地を確保し有効利用していくためには、農地利用について農地所有者等の意向を把握しなければなし得ない。そのため、戸別訪問を軸にアンケート調査等を効果的に取り入れ、農地利用の意向把握の取り組みを徹底しよう。

(4)「人・農地プラン」等地域の話合い活動の中心的役割を果たそう

- 市町村が取り組む「人・農地プラン」について農業委員会は組織を挙げて協力し、農業委員、農地利用最適化推進委員は地域の話合い活動に必ず参加し、話合いの中心的役割を果たすことを通じて、地域における農地利用の最適化の取り組みを強化しよう。

2. 農業経営の合理化、働きがいのある経営環境づくりを支援しよう

- 農地の集積と集約（団地化）などの取り組みによって担い手と新規参入者を支援するとともに、簿記記帳と青色申告の普及・推進や法人化などによる経営の合理化を支援しよう。
- 認定農業者等担い手の組織化とその組織活動を支援しよう。
- 農業・農村の男女共同参画、労働環境の整備、老後生活の安定に向けて、農業者年金の加入推進や家族経営協定の普及の取り組みを強化しよう。

3. 地域の声を取りまとめた「意見の提出」に積極的に取り組もう

- 改正農業委員会法第38条を踏まえ、農業委員会は、市町村等行政機関に対し、農地利用の最適化の取り組みを踏まえ、地域における農業・農村の問題を幅広く汲み上げて「意見の提出」などによる政策提案活動に取り組もう。

4. 農業委員会の体制強化に努めよう

(1)農地利用最適化交付金の活用に取り組もう

- 委員報酬の上乗せ措置である農地利用最適化交付金を効果的に活用するため、条例改正に取り組み、積極的に活用を図ろう。

(2)女性や若い農業者の登用を促進しよう

- 女性や若い農業者の登用に向け、市町村長等への働きかけを一層強化しよう。また、農業委員会活動への女性や若い農業者の関心を高め、積極的に公募に応じたり、地域の農業者・団体からの推薦を得られる人材の養成と発掘する取り組みを強化しよう。